

びわ湖環境ビジネスメッセ2018 共催セミナー

# 琵琶湖資源の 利活用に向けた 新たな展開の模索



当機構では、琵琶湖を活かしたバイオビジネスの創出と育成に向けて、琵琶湖関連の情報と技術を精力的に集めています。今回は、これまであまり議論されてこなかった淡水魚の発酵食品開発に関する話題および大型淡水藻類の未知の能力開発に関する話題を取り上げます。ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

日時: **平成30年10月17日(水)**  
**13:30~15:30**

参加費  
**無料**

場所: **びわ湖環境ビジネスメッセ会場内**  
**長浜バイオ大学ドーム セミナー室①**

滋賀県長浜市田村町1320 JR北陸線田村駅より徒歩約5分

## セミナー1

国際農林水産業研究センター  
 生物資源・利用領域  
 主任研究員 丸井 淳一郎 氏

**「内陸国ラオスの暮らしを支える  
 淡水魚の発酵食品」**

## セミナー2

滋賀県立大学  
 環境科学部生物資源管理学科  
 准教授 原田 英美子 氏

**「水生植物も活かせば資源」**

コーディネータ: 横田 明穂 氏

奈良先端科学技術大学院大学名誉教授、滋賀バイオ産業推進機構理事長

## 申し込み方法▶

びわ湖環境ビジネスメッセホームページからお申し込みください。  
 URL… <https://www.biwako-messe.com/sys/events/view/228>

詳細は裏面をご確認ください

13:30 挨拶 滋賀バイオ産業推進機構 理事長 横田 明穂 氏

13:35 「内陸国ラオスの暮らしを支える淡水魚の発酵食品」

国際農林水産業研究センター 生物資源・利用領域 主任研究員 丸井 淳一朗 氏

(概要) 東南アジアの内陸国ラオスでは、淡水魚が様々な調理・加工法で暮らしに活かされ、ナレズシ、魚醤などの発酵食品が広く普及している。最近では、ラオス最大のダム湖の魚を使った魚醤の商業生産が高付加価値化産業としても期待される。本講演では、ラオスの多様な水産発酵食品の一般情報と、発酵微生物の多様性、特徴的成分の分析など、水産発酵食品の更なる利用促進を目指す国際農研とラオスとの共同研究について紹介する。

14:35 「水生植物も活かせば資源」

滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科 准教授 原田 英美子 氏

(概要) 琵琶湖では水生植物の過剰な繁茂が問題となっており、その効果的な除去法や回収バイオマスの資源化が模索されている。講演者の研究グループでは、沈水植物オオカナダモに着目し、金属集積機構を調べるとともに、有効利用法の開発を試みている。本講演では、滋賀県立大学で様々な観点から進められている水生植物に関する研究についても併せて紹介する。

15:30 終了

日 時 平成30年10月17日(水) 13:30~15:30

場 所 長浜バイオ大学ドーム セミナー室①(滋賀県長浜市田村町1320)

参 加 費 無 料

定 員 80名

申 込 締 切 平成30年10月12日(金)

申 込 方 法 びわ湖環境ビジネスメッセWEBページから来場事前登録のうえ、  
セミナーにお申し込みください。

(URL… <https://www.biwako-messe.com/sys/events/view/228>)



会場周辺には駐車場がございません。  
びわ湖環境ビジネスメッセには公共交通機関でお越し下さい。



JR北陸線 田村駅より 徒歩約5分

● WEBからお申し込みいただけない方は滋賀バイオ産業推進機構事務局へご連絡ください。

● 定員を超えた場合はお断りさせていただくことがあります。

● ご記入いただいた個人情報は、主催団体および関係者による事業やイベントに関わる案内等の情報提供および事後の調査・分析等のみに利用し、その他の目的には一切使用しません。

お問合せ先 滋賀バイオ産業推進機構事務局(滋賀県庁モノづくり振興課内)

【TEL】 077-528-3794 【FAX】 077-528-4876 【E-mail】 info@shiga-bio.jp